

家畜衛生情報

平成19年5月



輸入乾牧草の飼料利用に注意を！

～ 輸入乾牧草が原因と疑われる

「エンドファイト中毒」が増加傾向 ～

【エンドファイト中毒】とは

「トールフェスク」や「ペレニアルライグラス」に寄生する真菌(エンドファイト)が産生する毒素(エルゴバリン及びロトレムB)によって引き起こされる中毒です。

《症 状》

◆トールフェスクによる中毒(エルゴバリン)

増体量の低下、唾液分泌の亢進、体温上昇、呼吸数の増加、受胎成績の悪化、泌乳量の減少、牛の耳や尾の先・蹄などに壊疽、腹腔脂肪の壊死など

◆ペレニアルライグラスによる中毒(ロトレムB)

頸部、体表、後肢筋の痙攣、歩行困難、起立不能など



エンドファイト中毒が増加傾向にある背景

アメリカでは芝草の種生産にエンドファイトを感染させて、その毒素を活用して虫害防除を実施しています。そのため、芝草である「ペレニアルライグラス」や「トールフェスク」のストローは、高濃度に感染している可能性があります。

近年、これらのストローは安価な粗飼料として日本に大量に輸出されており、また、国内では輸入「ペレニアルライグラス」の多くが「イタリアンライグラスストロー」と称して流通される事例がみられるため、品種の十分な確認が必要です。

注 意 点

- ・ 輸入乾牧草（ストロー）単味での使用は避け、必ず他の乾牧草を併せて給与しましょう（毒素摂取量の低減）。
- ・ 輸入粗飼料の品種を確認して購入しましょう。
- ・ 疑わしい症状を発見した場合は、当該牧草の使用を差し控えましょう。

— 中毒等を疑われた場合は、家畜保健衛生所へご相談下さい。 —



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

